

5月6日更新

ディズニーテーマパークにおける 節電への取り組みについて

1. 節電への取り組みについて

◇基本方針

ディズニーテーマパークの運営にあたり、当社では、政府の電力需給対策に則り、夏期の節電を実施してまいります。加えて、4月から6月の期間につきましても、同対策の基準に則り節電を実施いたします。

当社では、電力に関する外部環境や内部環境の変化に柔軟に対応しながら、電力供給体制の安定に協力してまいります。

なお、上記の取り組みをおこなう一方で、新たな自家発電設備の導入を計画しています。

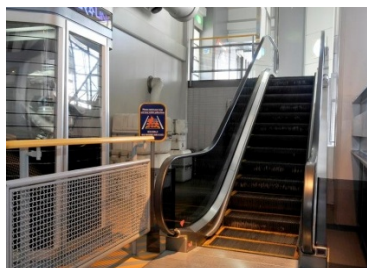
◇取り組み事例

①ディズニーテーマパーク内での節電

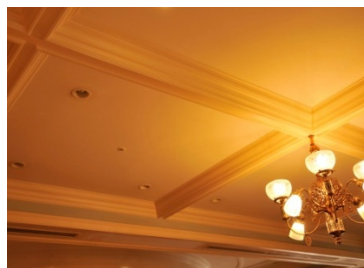
パーク内の屋内照明、屋外照明の使用を、ゲストの安全確保の前提のもと抑制しています。また、エスカレーター・噴水などの使用抑制や空調の温度調整、レストルーム内のハンドドライヤーの使用停止などの節電への取り組みを実施しています。

《アトラクション、エンターテイメント施設に関して》

節電への取り組みとして、運営を休止しているアトラクション・エンターテイメント施設はありません。節電にあたりましては、ゲストの体験価値の低下を極力避けるため、照明や噴水などの環境設備を優先し実施しています。



エスカレーターの停止
〈東京ディズニーランド〉



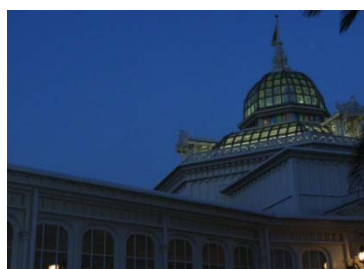
ショップでの減灯・消灯
〈東京ディズニーランド〉



噴水の停止
〈東京ディズニーランド〉



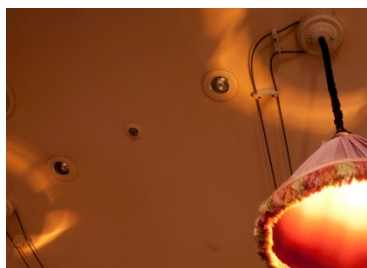
ハンドドライヤーの停止
〈東京ディズニーランド/東京ディズニーシー〉



外観照明の消灯
〈東京ディズニーランド〉



オブジェの消灯
〈東京ディズニーランド〉



レストランの減灯・消灯
〈東京ディズニーシー〉



噴水の停止
〈東京ディズニーシー〉



電飾の一部消灯
〈東京ディズニーシー〉

②バックヤードでの節電

オフィスやロビー、廊下などにおける照明の減灯・消灯をはじめ、空調の温度調整、レストルーム内のハンドドライヤーの使用停止、エレベーターの使用抑制などの節電への取り組みを実施しています。



オフィス棟の減灯・消灯

2. パレード、水上ショーの電力使用について

東京ディズニーランド®のパレードや東京ディズニーシー®の水上ショーにて使用する電力のうち、大部分を占めるフロート（パレードで使用する山車）やバージ（水上ショーで使用する船）は、公演中の電力供給を必要とするものではありません。

《パレードの公演について》

『東京ディズニーランド・エレクトリカルパレード・ドリームライツ』など、パレードで使用するフロート（山車）は、充電式のバッテリーにより電飾の点灯や走行をしています。また、バッテリーは電力需要の低い深夜帯も活用しながら充電しています。

《水上ショー》

『ファンタズミック！』など、水上ショーで使用するバージ（船）は、各バージ内に搭載している発電機により電飾の点灯や走行をしています。



フロート内の充電式バッテリー



バージ内の発電機

3. 自家発電設備について

当社では、太陽光や天然ガスを活用した自家発電設備（コ・ジェネレーションシステム）を導入しており、発電された電力をテーマパークやバックヤードに使用しています。

こうした自家発電設備により、ピーク電力で約 3,000 キロワット以上を発電することができます。また今後につきましても、太陽光パネルの増設や新たな自家発電設備*の導入を計画しています。

* 発電量は最大で約 15,000 キロワット、導入時期は 8 月頃、投資額は約 30 億円を想定



太陽光による自家発電設備



天然ガスを燃料とした自家発電設備